

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

11月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

大切な学び

校長 岩崎 健治

10月16日、天候が心配される中で、第21回運動会が開催されました。子どもたちは今まで取り組んできた力を存分に発揮していました。保護者の皆様におかれましては、子どもたちへの見守り、ご理解とご協力をたくさんいただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

運動会の準備や練習は、分散登校期間の9月中旬から始まりました。運動会に向けて、活動の見通しをもたせ、任せたり考えさせたりしながら、創造性や主体性を伸ばしていきました。活動の中で、学年演技やリレーで自主的に互いに教え合ったり、見合ったり、励ましあったりして学び合うことで、運動会を自分たちの手で創り上げようとする子どもたちの生き生きとした姿がありました。

当日は、真剣に踊る姿や気迫のある演技、笑顔いっぱいに振る舞う様子、最後まであきらめないで全力で走る姿に改めて子どもたちの素晴らしさを実感しました。

演技や競技に参加しない場面でも一緒になって踊ったり、力いっぱい応援したり、自分の仕事を主体的に取り組んだりして工夫した活動を行っていました。最後まで頑張りやり遂げた子どもたち一人一人に大きな達成感を感じました。帰りがけに「楽しかった」といってくれた子どもの一言がとても嬉しく思いました。

《全校遠足で仲良く》

10月25日、全校遠足が実施されました。こどもの国への全校遠足は6月の予定でしたが感染拡大の影響で延期され、10月の実施となりました。この間に「なかよし活動」（縦割りグループ活動）が何回も行われ、計画を立てたり、一緒に遊んだりすることで仲良く活動しました。当日もグループで工夫した遊びをする姿や思いやりをもって助け合う行動をたくさん見ることができました。



教育活動の中で、明確な目標があり、やればできるという手ごたえと自信をもったり、まわりの人から励まされたり、褒められたりすることや一緒にやる仲間がいることで主体性や創造性が生まれてきます。また、何か物事を成し遂げた時に得られる喜びや感動をすることで達成感もてます。努力をして苦労した分だけ、得られる達成感も大きくなります。達成感を覚えることで「大変なこともあったけどやり遂げてよかった」「これからも頑張りよう」という気持ちになり、新たな挑戦（チャレンジ）を始めるモチベーションが生まれます。創造性や主体性、学び合いや達成感、人への思いやり、楽しむこと等は、子どもたちの成長にとって、とても大切な学びではないかと思いました。

これまでの本校の教育活動の実施に際し、多くの皆様のご理解とご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。